Maniwa Public Relations 11 2026
広報まにわ
第259号

CENTRAL GARDEN MANIWA



みんなで挑戦！走力アップ！

10月20日、樫邑小学校でドリーム・スクール・キャラバン「走力UP！教室」が開かれました。プロスプリントコーチの荒川優さんを講師に迎え、児童たちは本物の走りに触れながら、速く走るこつをつかんでいました。写真は、腕の動きに制限をかけながら走っている様子です。

令和7年度決算 P02～
ごちゃまぜマルシェとぎかい講演会 P06～
市政トピックス P08～
お知らせ P10～
真庭が好きっ読者の広場 P20～
真庭人　長恒泰裕さん P24～
健康のススメ P25～
ぐるっと真庭 まちの話題 P26～

令和7年度（2025年度）決算状況をお知らせします

1年間の事業の内容を歳入（収入）と歳出（支出）で表した、令和7年度の決算がまとまりました。

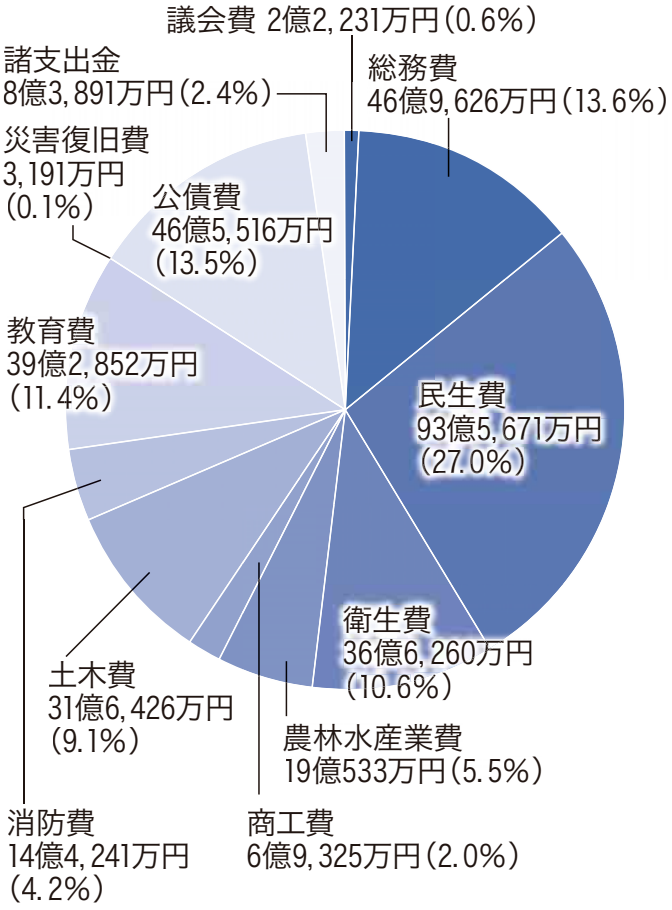


真庭市キャラクター
まにぞう

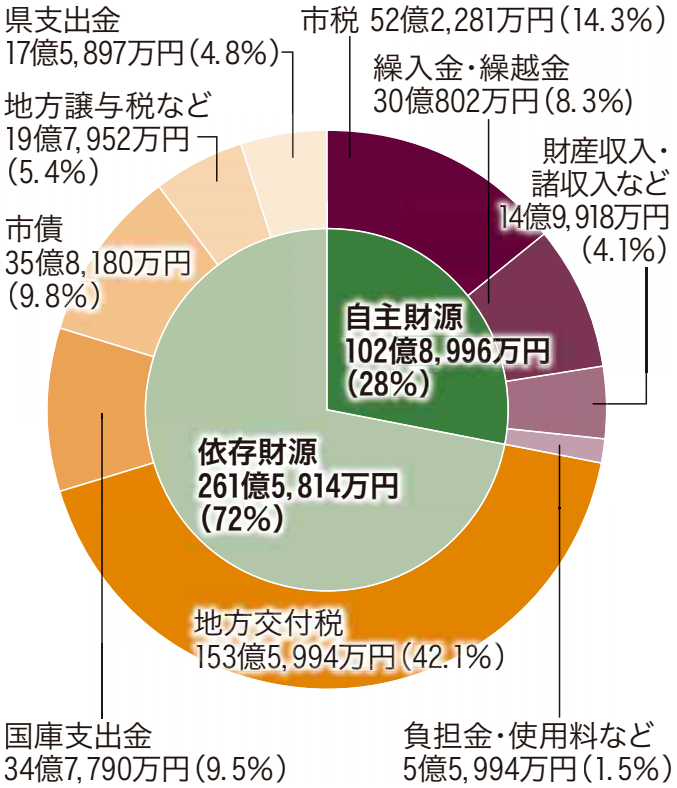
一般会計の決算概要

一般会計は、教育や福祉、土木といった行政サービスを行うための会計です。歳入の総額は364億4809万円、歳出の総額は345億9764万円で、差し引きをすると18億5046万円です。ただし、この中には翌年度に繰り越して行う事業の経費も含まれているため、実質17億6090万円の黒字です。

歳出 345億9,764万円



歳入 364億4,809万円



市税の内訳

市民税	20億8,839万円
個人市民税	17億　785万円
法人市民税	3億8,054万円
固定資産税	26億　18万円
軽自動車税	2億1,956万円
市町村たばこ税	2億9,659万円
鉱産税	35万円
入湯税	1,774万円

※2～5ページに記載の数値は、表示単位未満は四捨五入のため、合計額、差引額などが一致しない場合があります。

令和7年度に行われたさまざまな取り組み

主な事業として、みんなではぐくむ子育てのまちの実現に取り組む「こどもはぐくみ応援プロジェクト」における保育園施設整備費のほか、支え合い、生き生きと誰もが活躍できる社会を目指すデジタル地域通貨「まにこいん」普及促進事業、安心して暮らし続けることができる地域づくりのための地域内乗合交通維持確保支援事業、にぎわいにあふれ豊かさを実感できるまちに向けたまにわ地域共創拠点推進事業、回る経済と脱炭素への挑戦を続ける公有林整備事業など、さまざまな事業が行われました。


真庭高校旧久世校地




オンデマンド乗合交通「イコーデ」


にじいろこども園イメージ図

令和7年度の財政状況

財政健全化判断比率を見ると、実質赤字比率、連結実質赤字比率はともに黒字であり、将来負担比率は前年度に引き続き充当可能な財源が将来負担額を上回ったため、算定なしとなりました。実質公債費比率は9・8㌽と、前年度と比較して1・0ポイント低下するなど、早期健全化基準を大きく下回っています。

また、財政構造の弾力性を示す経常収支比率は、地方交付税などの経常収入が増加したものの、物件費や人件費などの経常支出も増加したことから、94・2㌽と前年度と同率でした。引き続き高い水準であることから、経常経費の効率的な管理にさらなる努力と工夫が求められます。財政力指数は0・294と前年度に比べ0・002ポイント減少しました。

令和7年度の財政健全化判断比率の状況

指標		説明	真庭市の比率	早期健全化基準(※1)
健全化判断比率	実質赤字比率	一般会計を対象とした実質赤字額の標準財政規模に対する比率	― ※2	12.47%
	連結実質赤字比率	全会計を対象とした実質赤字額(または資金の不足額)の標準財政規模に対する比率	― ※2	17.47%
	実質公債費比率	一般会計が負担する元利償還金および準元利償還金の標準財政規模に対する比率	9.8%	25%
	将来負担比率	一般会計などが将来負担すべき実質的な負債の標準財政規模に対する比率	― ※3	350%
経常収支比率		市税や地方交付税のような使い道が自由な収入に対する、人件費や扶助費といった必ず支出しなければならない経費の割合	94.2%	―
財政力指数		毎年の行政活動に必要なお金をどのくらい自治体が自力で調達できるかを表したもの	0.294	―

※1　地方公共団体の財政が一定の水準を超えて悪化したと判断される「健全化判断比率」の基準の一つ。この数値を下回ることが望ましい
※2　資金不足額がないため、「―」を記載
※3　充当可能な財源が将来負担額を上回っているため、「―」を記載

特別会計の決算概要

特別会計は、特定の歳入（保険料や使用料など）で行う事業の会計で、一般会計とは区別されています。真庭市には現在8つの特別会計があります。歳入の総額は120億9775万円、歳出の合計は117億5329万円で、差し引きすると3億4445万円の黒字となります。

特別会計は、原則特定の歳入で行う事業ですが、その一部については国が示す基準に沿って、一般会計からの繰出金を「繰入金」として入れて補っています。令和7年度繰入金の総額は20億5956万円です。


津黒高原荘


クリエイト菅谷



特別会計

会計名	歳入額	歳出額	差引額	繰入金
国民健康保険	44億5, 100万円	43億8, 914万円	6, 186万円	4億7, 091万円
後期高齢者医療	9億3, 007万円	9億2, 946万円	61万円	2億4, 304万円
介護保険	64億3, 645万円	61億7, 551万円	2億6, 093万円	12億1, 121万円
介護保険 （介護サービス事業勘定）	7, 319万円	7, 045万円	273万円	4, 666万円
浄化槽事業	3, 506万円	3, 398万円	108万円	3, 356万円
津黒高原観光事業	3, 162万円	3, 152万円	10万円	2, 701万円
クリエイト菅谷事業	1, 000万円	1, 000万円	0円	1, 000万円
温泉事業	1億3, 036万円	1億1, 323万円	1, 714万円	1, 717万円
合計	120億9, 775万円	117億5, 329万円	3億4, 445万円	20億5, 956万円

公営企業会計の決算概要

公営企業会計とは、自治体でも収益が認められている事業の会計です。真庭市には現在3つの公営企業会計があります。日々の営業活動に必要な収益的収支と、施設の改良などに必要な資本的収支に分けて経理することとなっています。独立採算が原則で、企業会計の方式によって経営しています。

公営企業会計も、特別会計と同様に原則特定の歳入で行う事業ですが、その一部について、国が示す基準に沿って一般会計からの補助金や負担金などで補っています。令和7年度の補助金・負担金などの総額は18億9214万円です(なお、水道事業の補助金・負担金には受益者である他市町村からの負担金を含みます)。

湯原温泉病院事業

収益的収支(医業収益などの収支)	
病院事業収益	13億4,391万円
病院事業費用	14億1,284万円
差引額	▲6,893万円
資本的収支(医療機器整備などの収支)	
資本的収入	8,833万円
資本的支出	1億2,731万円
差引額	▲3,898万円
補助金・負担金など	3億7,317万円

湯原温泉病院自慢の健康増進プールは

100%温泉!

運動指導士と楽しく水中運動しませんか? 見学だけでも大歓迎

ご利用可能日:平日午後3時15分～
利用料金:360円／回

水道事業

収益的収支(維持管理の収支)	
水道事業収益	12億7,456万円
水道事業費用	11億1,270万円
差引額	1億6,186万円
資本的収支(施設建設などの収支)	
資本的収入	3億9,246万円
資本的支出	9億4,644万円
差引額	▲5億5,398万円
補助金・負担金など	3億6,034万円

真庭市の水道料金は1ℓあたり

約0.2円

1円で約5ℓの水を利用できます

口径13㎜・月20㎥使用時の平均水道料金(税込)

下水道事業

収益的収支(維持管理の収支)	
下水道事業収益	17億525万円
下水道事業費用	16億7,604万円
差引額	2,922万円
資本的収支(施設建設などの収支)	
資本的収入	12億6,593万円
資本的支出	16億3,096万円
差引額	▲3億6,503万円
補助金・負担金など	11億5,863万円

下水道接続の借入利子を助成

融資額150万円以内

借入利率の利子全額を市が助成します

新築は対象外です



決算は、真庭市公式ウェブサイトでも公開しています。

真庭市　決算　検索

▲一般会計・特別会計

▲水道事業会計

▲下水道事業会計

ごちゃまぜ マルシェとぎかい講演会

▶日時
11月28日(土)
午前10時～午後4時

▶会場
勝山文化センター

誰もが暮らしやすい社会の実現を目指して
「共生社会」×「教育」

11月28日に勝山文化センターで「ごちゃまぜマルシェとぎかい講演会」を開催します。**子ども**から**お年寄り**、**外国の人**も**障がいのある人もない人**もみんな一緒に新しい発見をしてみませんか。学びや対話、食や遊びなどさまざまな企画が盛りだくさん。ぜひ会場へお越しください。

●ぎかい ってなあに？

2階 第1会議室・ステージ 午前10時～正午

シールアンケートやデジタルサイネージで「ぎかい」について学ぼう。
対面ブースで「ぎいん」とお話ししたり、ぎいんなりきりフォトブースもあるよ。



ぎかい講演会

1階 ポンテホール

開場：午後0時30分
開演：午後1時30分～3時（終了予定）



手話通訳・要約筆記あり

これからの時代の教育とは

講師：平川 理恵さん（前広島県教育長）

株式会社アカデミア・ネクサス 代表取締役社長
東京インターナショナルスクール 理事

AIが当たり前となり、世界や日本の社会そのもののあり方が変わろうとしています。講演では、これから世の中がどう変わっていくのか。その時、真庭市では次世代である子どもたちをどう育成していったらいいのかにお答えします。

映画上映会＆意見交換会
「女性の休日」

日時：11月27日(金)
上映時間：午後4時～
意見交換：午後5時15分～
会場：真庭市議会議場

※臨時駐車場は久世エスパスセンターをご利用ください

参加申込はこちらから▶

●みんなでいっしょにつくろう！あそぼう

2階 第1・2会議室　午前10時～

身近な材料を使ってみんなで工作をしよう。
最後は合体して、大きなコロコロが完成だ。
すごろくであそびながら、日頃感じている
「なんでやねん！」を聴きあって、盛り上がろう。



●太田市長とえんぴつを削ろう

2階　第1会議室　午前10時～正午

えんぴつをナイフで削ったことはありますか？
太田市長と一緒にえんぴつを削りながら、
話しましょう。

●ないまぜマルシェ

1階 ロビー・2階 第1会議室

福祉団体や外国料理など、さまざまな人々が
集うマルシェです。

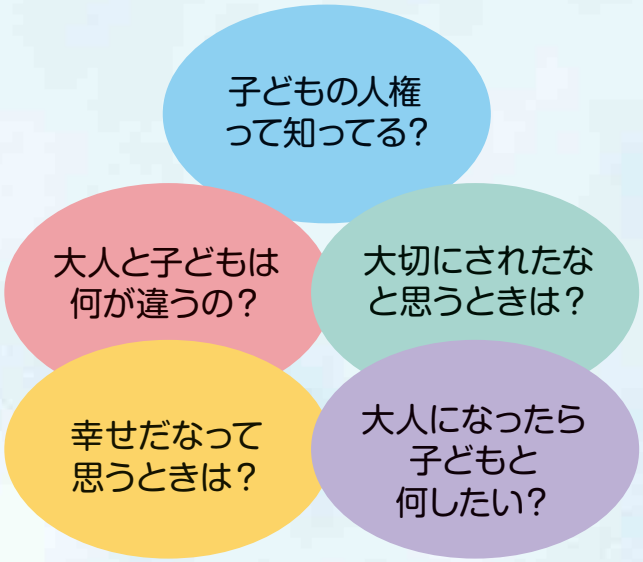
- ジーニー
- 真庭いきいき会
- 旭川荘
- コスモスワーク
- 手話カフェ
- 月のこよみ（エスニック料理）
- 真庭市社会福祉協議会勝山支所
- スパイスバー　升
- かつやまのいも生産組合（銀沫（ぎんしぶき）キムチ）　ほか

●子どもパネルディスカッション

「子どもが『権利』と出会ったら」

2階　第1会議室　午前11時～

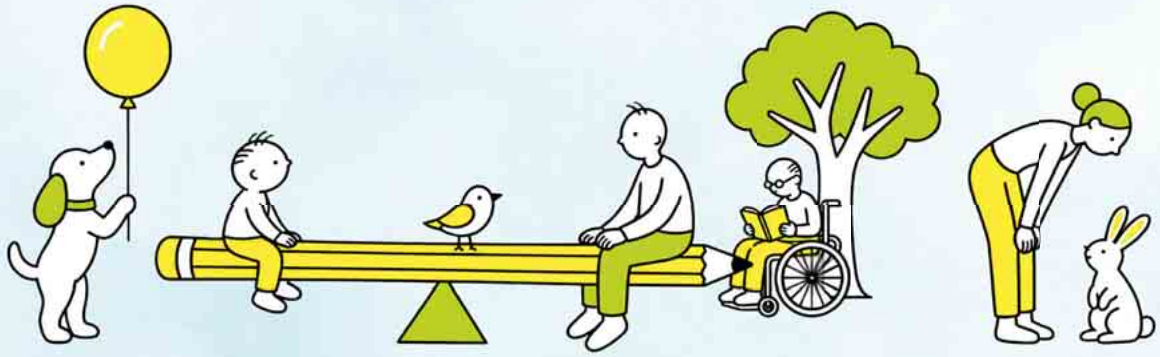
中学生2人と大学生1人の3人が、こどもの権利について思っていること、大人にわかってほしいこと、うれしかったこと、自分が大切にされていると感じたことを話します。大人が気づいていない思いや期待があるかもしれません。3人の率直な声に耳を傾けながら、こどもの権利とは何か、子ども一人一人を大切にすることや、誰もが大切にされていることについて一緒に考えてみませんか。



●みんな大好き ふわふわエアーアスレチック

1階 ロビー

元気いっぱい遊べる夢のふわふわ空間。
とんで、はねて、体を動かそう。



主催：真庭市・真庭市教育委員会・真庭市議会
問い合わせ先：共生社会推進課　TEL0867-42-1017（FAX 7455）

市政トピックス TOPICS

真庭市郵便局利活用実証事業が開始
郵便局を地域の拠点に



郵便局内のブースから振興局職員とオンラインで相談する住民

県内初となる郵便局利活用実証事業の開始セレモニーが、9月29日に二川郵便局で開催されました。この事業は、人口減少や高齢化が進む地域の暮らしを支えるため、湯原・二川郵便局を買い物支援やオンライン行政窓口、オンライン診療などの拠点とし、高齢者にも利用しやすい生活環境を目指すものです。郵便局では、買い物の注文支援や商品の受け取り、行政相談など、各種サービスを利用できます。この日はテープカットの後、住民がオンラインで湯原振興局職員に地域課題を相談し、利便性を確かめました。実証事業は10月1日から令和9年2月26日まで実施予定です。



関係者でテープカット



提携商店への注文画面



拠点となる二川郵便局



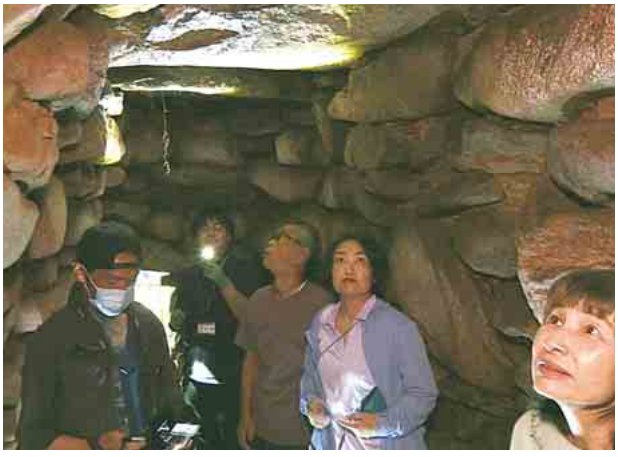
和気あいあいと交流する生徒たち

インドネシア学生と市内学生交流事業
互いの文化を知る

9月16日、落合中学校の1年生とインドネシアの中高生が文化交流を行いました。体育館では、インドネシアの生徒たちが「タリ・サマン」や「ラトゥ・ジャロエ」と呼ばれる伝統舞踊を披露。その後、ランチルームで書道や折り紙を体験。書道では「夢」や「笑」など、それぞれにとって思いの込もった漢字を選び、筆を動かしました。生徒たちは、体験を通して互いの文化への理解を深め、交流を楽しみました。

四ツ塚古墳群 石室公開
貴重な古墳の内部を見学

9月19日、蒜山地域にある国指定史跡・四ツ塚古墳群の石室が特別公開されました。古墳は6世紀に築かれ、うち16基が現存する四ツ塚古墳群ですが、石室があるのは1号墳のみです。今回の特別公開は普段は立ち入りができない石室を、より多くの人に見てもらおうと、蒜山郷土博物館が初めて企画。参加者は石室に使われている石が旭川から運ばれてきたことなど説明を受け、地域の歴史への理解を深めていました。



石室の特徴について職員から説明を聞く参加者



市長室から
こんにちは!

「米」について考える

＜今年の米価は暴落＞

本年は、異常気象ではあるものの米は豊作のようですが、農家の人は浮かぬ顔をしています。昨年と様相が変わり、米の在庫が膨らみ、新米の卸値が暴落しているからです。農林水産省が発表した９月の卸値(玄米60kgの相対取引価格)は21,293円と前年同月比42％減となりました。暴落原因としては、昨年度の米価高騰を背景に、６月末で243万トンの民間在庫があるからです。2024年度では国民一人当たりの年間消費量が、ピークだった1962年度の約半分53.4kgです。米離れが進む中で米不足が起きたことについて、米の流通や価格形成に疑問を感じています。

＜米増産の歩みと政策＞

本当に困るのは、生産者と消費者です。米は主要食糧として重要で、日本は米増産に励んできた歴史があり、生産が増えれば人口が増えるという関係にありました。これまでの増産努力が積み重なり、1966年には米の完全自給を達成しました。その後、生産調整により転作を奨励したものの耕作放棄地が増加してきました。もっと早く米の政策を転換すべきでしたが、それは結果論かもしれません。食生活の変化に合わせた農業への転換や、食料自給率向上を目指す一貫した政策があれば、日本農業と農村の姿も変わっていたのではないでしょうか。なお、この状況でも農産物市場の開放の下に年間70万トンを超える米を輸入しているのです。

＜これからの米、農業政策＞

国民の豊かな食生活、食料の安全保障を重視して、食料とエネルギーの自給率を高める政策が重要です。工業製品を輸出して食料と原油を買う構造を改めるとともに、高級米を輸出することです。2024年度で60kg当たりの原価コストが、法人経営体では１万２千円、個別経営体では１万５千円～１万７千円です。国庫補助を入れつつ、規模拡大や技術開発をすれば、競争力をつけて輸出することが可能で、米余りを起こさずに済みます。不作の対策にもなります。本年設立した真庭版農業支援サービス事業体『株式会社KANAMS(カナムス)』を活用して農業に展望が持てる支援をしていきます。



グループでの話し合いの様子

ハコモン°(ド)マニワ2026
みんなの共生拠点施設へ

９月25日、市役所本庁舎で共生拠点施設基本計画策定ワークショップ、ハコモン°(ド)マニワが開かれました。共生拠点施設とは、共生社会やはぐくみ支援、健康・福祉・相談を主要テーマとした総合支援拠点です。参加者は、グループごとにどんな場所や、つながりがあったら良いかなどについて、自由に話し合いました。このワークショップは10月、11月にも開催され、集まった声を今後の計画に反映していきます。



寄贈された車両の前で記念撮影

三者による協力協定締結式・車両寄贈式
次世代自動車を活用

10月13日、市と市社会福祉協議会、Hyundai Mobility Japan株式会社の三者による協力協定締結式と車両寄贈式が行われました。本協定は、Hyundai社が市社協に寄贈する次世代自動車「INSTER」を、平常時には地域福祉活動に使用するほか、災害時などには市が非常用電源の供給車両として活用することを目的に締結。今後も連携を通じて、持続可能な地域福祉の推進や地域防災力の向上に取り組みます。

12月のごみの持ち込み　期間内に予約を

クリーンセンターまにわ、南部地区中継施設（旧コスモスクリーンセンター）持ち込み

12月は予約制の日があります

▶予約が必要な日および予約受付期間

予約が必要な日	予約受付期間
12月 6 日(日)	11月16日(月)～12月 4 日(金)
12月20日(日)	11月30日(月)～12月18日(金)
12月28日(月)	12月 7 日(月)～25日(金)
12月29日(火)	12月 8 日(火)～28日(月)

▶予約方法
住んでいる地域の持ち込み施設に電話

▶予約に必要な情報
①氏名　②住所　③電話番号
④ごみの種類　⑤持ち込み希望時間
⑥持ち込み車両(車種・ナンバー)

▶予約先
・北房、落合地域在住の人：南部地区中継施設　TEL 0866-52-4230
・久世、勝山地域在住の人：クリーンセンターまにわ　TEL 0867-42-7453
※北部地区中継施設（旧真庭北部クリーンセンター）管内の湯原、美甘、蒜山地域在住の人は事前予約不要です。

問 クリーンセンターまにわ　TEL0867-42-7453（FAX7454）
Email：clean_c@city.maniwa.lg.jp

真庭市ホームページ

親子で姫新線を楽しむ「まに鉄フェスタ」開催

JR姫新線を身近に感じるイベント「まに鉄フェスタ」を、中国勝山駅で開催します。鉄道コーナー、マルシェ、きっぷラリーなど、親子で楽しめる内容です。

■日時　11月15日(日)
午前10時～午後2時30分
■場所　中国勝山駅　観光駐車場
※車で来場の場合は、勝山文化センター河川敷駐車場をご利用ください
■内容
①来場者プレゼント
来場した子どもたちに先着順でJR紙帽子、オリジナルペーパークラフトをプレゼントします。いずれもなくなり次第終了です。
②まに鉄マルシェ
市内飲食店が出店します。また、この日だけのオリジナル駅弁も数量限定で販売します。
③まに鉄きっぷラリー
会場内で「まに鉄きっぷ」を集めると、先着順で鉄道線路の道床（バラスト）を記念品としてプレゼントします。なくなり次第終了です。
④鉄道コーナー
子ども向け鉄道制服の着用体験や、姫新線イライラ棒の体験ができます。
⑤鉄道図書コーナー
鉄道に関する本を集めたコーナーです。その場で読めるほか、借りることもできます。
※同じ日には、勝山文化センターで「こどもまんなかまつり」を開催します。中国勝山駅から徒歩5分の距離にあります。両方の会場を巡るデジタルスタンプラリーも行います。ぜひ、あわせてご来場ください。

◎「まに鉄×こどもまんなかスタンプラリー」
まにあぷりの位置情報機能を利用するデジタルスタンプラリーにより「まに鉄フェスタ」と「こどもまんなかまつり」の両会場をチェックすると100まにぃポイント、いずれかの会場と市内6駅（中国勝山駅を除く）のどれか1駅でさらに100まにぃポイントを後日抽選でプレゼントします。

■問い合わせ先
共生社会推進課
TEL 0867(42)1017
FAX 0867(42)7455
■真庭市ホームページ▼



お知らせ INFORMATION

真庭市の人口

総数　39,121人（−68）
男　18,875人（−32）
女　20,246人（−36）
世帯数　17,181世帯（−17）
令和8年10月1日現在
（ ）は前月との比較

代表電話番号
（地域振興課・出張所）

▶本庁舎
TEL 0867-42-1111
FAX 0867-42-1341
▶蒜山振興局
TEL 0867-66-2511
FAX 0867-66-4401
▶北房振興局
TEL 0866-52-2111
FAX 0866-52-4496
▶落合振興局
TEL 0867-52-1111
FAX 0867-52-1939
▶勝山振興局
TEL 0867-44-2607
FAX 0867-44-4569
▶美甘振興局
TEL 0867-56-2611
FAX 0867-56-2033
▶湯原振興局
TEL 0867-62-2011
FAX 0867-62-2097
▶中和出張所
TEL 0867-67-2111
FAX 0867-67-2205
▶真庭市消防本部
TEL 0867-42-1190
FAX 0867-42-1672

秋のこどもまんなか月間

11月は、子どもや子育て世帯を社会全体で応援する「秋のこどもまんなか月間」です。また11月第３日曜日は「家族の日」、その前後各１週間は「家族の週間」です。子どもたちの健やかな成長や家族の絆について考え、一人一人が、子どもたちのために最も良いことは何か、「こどもまんなか」の意識を社会全体で高める期間です。

▶家族の日 11月15日(日)　▶家族の週間 11月８日(日)～11月21日(土)

真庭市では、この期間にあわせて、「こどもまんなかまつり」×「まに鉄フェスタ」の開催や真庭市公式Instagram「こどもあ」でのキャンペーン、「こどもまんなか応援サポーター」の募集を行います。みんなで楽しみながら、地域全体で子どもや子育て世代を応援する輪を広げていきましょう。

家族の日に「こどもまんなかまつり」を開催！

子どもや保護者だけでなく、地域みんなで一緒に楽しみながら交流し、子どもや子育てを応援する機運を高めることを目的として開催します。来場した子どもたちには、プレゼントもあります。また、まに鉄フェスタと両会場に参加すると、後日抽選で100まにぃポイントがもらえます。





▶日時　11月15日(日)　午前10時～午後３時
▶場所　勝山文化センター
▶内容　ステージショー、移動動物園、親子ワークショップ、外の遊び場、地震体験車、はたらく車の展示、ふわふわエア遊具など、こどもまんなか応援サポーターによるブースもあります。

公式Instagram「こどもあ」キャンペーン

◎「こどもまんなかまにわ」フォトコンテスト

市内で撮影した18歳以下の子どもが写った写真を募集します。

▶応募方法
①「こどもあ」をフォローし、投稿に「いいね」
②写真への一言コメントやエピソードを添え、「#こどもまんなかまにわ」をつけて投稿
入賞者20名に図書カード5,000円分をプレゼント！

▶応募締切　11月30日(月)

◎「こどもあ」フォロワー限定プレゼント

あなたの真庭での思い出や、お気に入りの場所、気になるスポットを教えてください。抽選で宿泊券などの豪華賞品をプレゼント！

▶応募方法
①「こどもあ」をフォローし、投稿に「いいね」
②投稿に「真庭での思い出や、お気に入りの場所、気になるスポット」をコメント

▶応募締切　11月20日(金)

真庭市公式Instagram「こどもあ」▶

あなたも「こどもまんなか応援サポーター」

真庭市では、子どもや子育て世代を応援する「こどもまんなか応援サポーター」を募集しています。例えば、こんな取り組みです。

○キッズメニューや施設内にキッズコーナーを作っている
○登下校の子どもの見守り活動を行う
○子どもの看護や行事でも有給休暇が取りやすい職場環境を作る　など

企業、団体、個人を問わず参加できます。みんなで「こどもまんなか」の輪を広げてみませんか。

▶申込方法　申込フォームから申し込み。

申込フォーム▶

問 子育て支援課　TEL0867-42-1054（FAX1388）
Email：kosodate@city.maniwa.lg.jp

真庭市ホームページ

お知らせ INFORMATION

ご協力ください 全国ひとり親世帯等調査

国では、全国の母子世帯、父子世帯および父母のいない児童を養育している世帯（養育者世帯）の生活実態を把握し、ひとり親家庭などに対する福祉施策の充実を図るための基礎資料を得ることを目的として「全国ひとり親世帯等調査」を実施します。

令和2年度国勢調査で設定された調査区の中から国が無作為に抽出した調査地区の母子世帯、父子世帯および養育者世帯（父または母のいない児童を養育する世帯）が対象です。

※市内のひとり親家庭全てが調査対象となるものではありません。

■調査時期
令和8年11月1日現在の状況について調査します。対象となった世帯には、11月以降に調査員が訪問し、調査票を配布します。

■調査内容
世帯の状況、仕事、子どもの状況、公的支援制度の利用状況、困り事や相談先などについて調査します。回答情報の内容は厳守されます。円滑な調査にご協力をお願いします。

■問い合わせ先
こども家庭センター
TEL 0867(42)1816
FAX 0867(42)1388

■こども家庭庁ホームページ▼

ご協力ください 生活のしづらさに関する意識調査

厚生労働省では、令和8年11月1日現在で生活のしづらさなどに関する意識調査（全国在宅障害児・者等実態調査）を実施します。この調査は、障がい者施策の推進に向けた検討の基礎資料とするため、在宅の障がい児・者など（難病などの患者や長引く病気やけがなどにより生活のしづらさがある人を含む）の生活実態とニーズを把握することを目的とする意識調査で、対象地区を抽出して実施します。11月1日から24日までの間に調査員が世帯を訪問し、調査票を配布します。対象となる人は、調査票に記入し、郵送で提出してください。ご協力をお願いします。

■問い合わせ先　福祉課
TEL 0867(42)1581
FAX 0867(42)1369

■厚生労働省ホームページ▼

生活の安全と安心を確保 要援護世帯の除雪費用支援

自力で除雪することが困難であると認められる高齢者や身体障がい者などで構成する世帯に対し、除雪に要した費用の全部、または一部を助成します。

■対象者
真庭市に住所があり、次のいずれかに該当する人
①65歳以上の1人暮らし世帯
②75歳以上の高齢者のみの世帯
③身体障害者手帳1級から4級までの人のみの世帯
④介護保険制度で要支援1以上の認定を受けている人のみの世帯

■対象費用
事業者に委託した居住家屋の除雪作業の費用
①玄関前から公的な除雪の対象となっている道路までの除雪
②屋根の雪下ろし（下ろした雪の生活上必要最小限の処理も含む）

■助成金額
対象作業費用の2分の1（生活保護世帯は全額）
※年度あたり2万円が上限。100円未満は端数切り捨て。

■申請方法
申請書に対象作業費用の支払いが証明できる書類（領収証の原本など）を添えて、作業終了後速やかに福祉課、または各振興局市民サービス窓口に提出

■問い合わせ先　福祉課
TEL 0867(42)1581
FAX 0867(42)1369

■真庭市ホームページ▼



11月の休日急患担当医

診療時間：午前9時～午後5時

1日
- 勝山病院・勝山 0867-44-3161（FAX5331）
- 遠藤クリニック（外）・蒜山 0867-66-3002（FAX3366）

3日
- 落合病院（内）・落合 0867-52-1133（FAX1160）
- 金田病院（外）・落合 0867-52-1191（FAX1917）
- まにわ整形外科（外）・久世 0867-42-7300（FAX7301）

8日
- 津山中央まにわ病院・勝山 0867-44-2671（FAX2989）
- 片岡医院（内）・湯原 0867-62-3400（FAX3490）

15日
- 勝山病院・勝山 0867-44-3161（FAX5331）
- 吉弘クリニック（内）・北房 0866-52-2704（FAX2636）

22日
- 湯原温泉病院・湯原 0867-62-2221（FAX2223）
- 宮島医院（内）・勝山 0867-44-2403（FAX3432）

23日
- 金田病院・落合 0867-52-1191（FAX1917）
- clinic SHIRO（内）・落合 0867-55-2121（FAX2124）

29日
- 落合病院（内）・落合 0867-52-1133（FAX1160）
- 勝山病院（外）・勝山 0867-44-3161（FAX5331）
- 米田医院（内）・勝山 0867-44-2132（FAX4749）

～12月～

6日
- 津山中央まにわ病院・勝山 0867-44-2671（FAX2989）
- 杉江医院（内）・落合 0867-52-3456（FAX3218）

児童虐待防止推進月間

子どもの安全安心と笑顔を守る取り組みを

11月は児童虐待防止推進月間です。虐待は子どもの心と体に深い傷を残し、健やかな成長や発達に大きな影響を与えます。子育て中の保護者を温かく見守り、支えることは、児童虐待の予防につながります。体罰などによらない子育てを推進するため、子育て中の保護者に対する支援も含めて地域全体で取り組んでいきましょう。

●児童虐待防止相談窓口
※個人情報は守られるので、安心してご相談ください。

■24時間対応
・児童相談所虐待対応ダイヤル189（いちはやく）

■平日に相談
・津山児童相談所　TEL0868-23-5131
　月～金曜日（祝日除く）午前8時30分～午後5時
・こども家庭センターまたは各振興局
　月～金曜日（祝日除く）午前8時30分～午後5時15分

■土曜日も相談可能
・岡山県子ども・家庭電話相談室　TEL086-235-4157
　月～土曜日（祝日除く）午前9時～午後8時

■そのほかの相談先
・児童相談所相談専用ダイヤル　TEL0120-189-783
・こども家庭庁　親子のための相談LINE

■子育てで困ったり、不安を感じたときは、1人で抱え込まずに周りの力を借りることも大切です。市ではさまざまな子育て支援サービスがあります。気軽にご相談ください。

※地域の子どもや家庭の様子で気になることがある場合も、遠慮なくご相談ください。

問 こども家庭センター
TEL0867-42-1816（FAX1388）

LINEでの相談はこちらから▶

こども家庭庁ホームページ▶

大切な未来のために
HPVワクチン定期接種と子宮頸がん予防

日本では毎年約1万1千人の女性が子宮頸がんにかかり、約三千人が死亡しています。子宮頸がんの原因であるHPVには、一度でも性的接触があれば誰でも感染する可能性があります。子宮頸がんの予防には、HPVワクチンの接種が有効と言われています。小学校6年生から高校1年生相当年齢の女子は、公費で接種を受けることができます。子宮頸がん予防に関する情報は、岡山県公式バーチャルインフルエンサー「ももね」のインスタグラムでも発信中です。詳しくは、市ホームページからご覧ください。

■問い合わせ先　健康推進課
TEL0867(42)1050
FAX0867(42)1388

■真庭市ホームページ▼

■ももね感染症ナビインスタグラム▼

歯科健診を受けよう
11月8日は「いい歯の日」

忙しくて時間がない、痛くないから大丈夫、と思っていませんか。虫歯や歯周病は自覚症状がなく、気付いたときには進行していることがあります。

■あなたのお口は大丈夫？
次の項目に当てはまるものはありませんか。一つでも当てはまる場合は、お口トラブルが隠れている可能性があります。自覚症状がなくても、いつまでもおいしく食べ、元気に過ごすために、まず歯科健診から始めましょう。

・口臭が気になる
・歯ぐきが腫れている
・半年以上歯科健診を受けていない
・硬い食べ物が食べにくくなった

■問い合わせ先　健康推進課
TEL0867(42)1050
FAX0867(42)1388

■真庭市ホームページ▼

正しい理解と早期発見を
世界糖尿病デー

11月14日は、世界保健機関（WHO）と国際糖尿病連合（IDF）が定める「世界糖尿病デー」です。糖尿病への正しい理解を広げ、予防や早期発見、適切な治療の重要性について考える日として、世界各地で啓発活動が行われています。

糖尿病は、血糖値が高い状態が続く病気です。初期にはほとんど自覚症状がないため、放置すると重い合併症につながるおそれがあります。しかし、糖尿病は生活習慣の見直しや適切な治療によって予防が期待できます。栄養バランスのよい食事を心掛け、適度な運動や十分な睡眠をとるなど、日頃の積み重ねが健康づくりにつながります。この日をきっかけに、自分自身や家族の健康について考えてみませんか。

■問い合わせ先　健康推進課
TEL0867(42)1050
FAX0867(42)1388

■真庭市ホームページ▼

誰もが安心して暮らせるまちへ　みんなで地域を見守ろう

地域見守りネットワーク「まにわのわ」

認知症の人や子どもなどが家に帰れなくなった時、見かけた人が声をかけるなど、誰もが安心して暮らせるように、みんなで取り組む仕組みが、地域見守りネットワーク「まにわのわ」です。真庭市では、次の２つの事業に取り組んでいます。皆さんの登録をお願いします。

●見守りネットワーク事業

事業者は協力事業所として事前登録し、日常の業務の中で周囲の人の異変に気がついた時、市役所などに通報してもらう事業です。登録事業者には「登録ステッカー」と「協力事業者登録証」を交付します。

▶登録方法　登録届出書を高齢者支援課、または各振興局に提出してください。



登録ステッカー▲

●早期発見SOSネットワーク事業

行方不明が発生した時、協力事業所および協力者（事前に登録している人）に、メールなどで行方不明者の情報発信を行い、早期発見に向けた協力を依頼する事業です。誰でも登録できるので、ご協力をお願いします。

▶登録方法　登録用二次元コードを読み取り、空メールを送信すると、登録専用URLが記載されたメールが届きます。手順に従って登録してください。

登録はこちらから▶

問 高齢者支援課　TEL0867-42-1074（FAX1390）
Email：kohreisha@city.maniwa.lg.jp

真庭市ホームページ

ご参加ください　年末調整説明会

今年度の税制改正（基礎控除の見直しなど）を踏まえた年末調整の留意点を説明します。税務署職員による動画やスライドを使った説明です。ぜひご参加ください。

■日時　11月17日㈫
・1回目　午前10時～
・2回目　午後1時30分～
■場所　久世エスパスセンター
■定員　各回50人程度
■参加費　無料
■申込方法　真庭法人会に電話で申し込み。
■申込期限　11月11日㈬
■主催　真庭法人会、真庭青色申告会、真庭間税会
■申し込み・問い合わせ先　真庭法人会　TEL 0867（42）4653　FAX 0867（42）4337

スマートフォンで確定申告　スマホ申告教室

スマートフォンでできる確定申告について、税務署職員が動画やスライドを使って説明します。操作方法の説明などを税務署職員が丁寧にサポートするので、スマートフォンの操作が苦手な人も安心してご参加ください。

■日時　11月17日㈫
・1回目　午前11時～
・2回目　午後2時30分～
■場所　久世エスパスセンター
■定員　各回50人程度
■参加費　無料
■申し込み　不要
■主催　真庭法人会、真庭青色申告会、真庭間税会
■問い合わせ先　真庭法人会　TEL 0867（42）4653　FAX 0867（42）4337

お知らせ INFORMATION

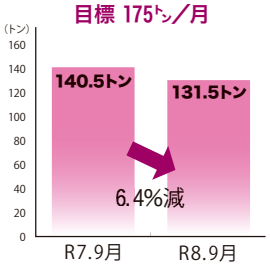
MANIWA ECO & CLEAN

資源循環で持続可能なまちへ

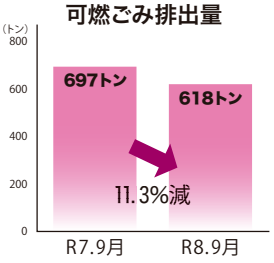
環境課　TEL0867-42-1113

真庭市では、地域資源である生ごみなどをバイオ液肥にリサイクルすることで、可燃ごみの削減を図っています。

生ごみ収集量
目標 175トン／月



可燃ごみ排出量



ごみの分別リストと収集日の確認はこちらから

ごみと資源の分別ガイドはこちらから

バイオ液肥を使ってみませんか

真庭市役所環境課

被害が深刻になる前に　1人で悩まず相談を

DV被害防止

11月12日～25日は「女性に対する暴力をなくす運動」期間です

ドメスティック・バイオレンス＝DV（配偶者や恋人など親密な関係にある人や、かつてそういった関係にあった者から振るわれる身体的、精神的、経済的な暴力）は、犯罪となる行為をも含む重大な人権侵害です。また、子どもの面前で行われるDVは、児童虐待です。DV被害には、警察、女性相談支援センター、子どもに関わる機関などの連携により相談支援が行われます。1人で悩まず、まずは相談しましょう。

DV被害防止相談窓口　秘密厳守・安全第一で支援します

■日中に相談
- 岡山県女性相談支援センター
  TEL086-235-6060
  月～金曜日/午前9時～午後4時30分
- ウィズセンター（岡山県男女共同参画推進センター）
  TEL086-235-3310
  火～土曜日/午前9時30分～午後4時30分
- 共生社会推進課、各振興局
  月～金曜日/午前9時～午後4時

緊急時はためらわず110番を

■夜間・土曜日に相談
- 岡山県女性相談支援センター　DV夜間・土曜電話相談
  TEL086-235-6101
  月～金曜日/午後4時30分～8時
  土曜日/午前9時～午後4時30分

■24時間対応（電話・チャット）
- 内閣府「DV相談＋」
  TEL0120-279-889
  ※チャットは正午～午後10時の受付

内閣府ホームページ▶

○専門家に相談を

配偶者やパートナーからの暴力に対して「私がいけないんじゃないか」「私が我慢したらいい」などと思うことがあります。しかし、その中には絶対にあってはならない行為や言動が含まれている場合があります。1人で抱え込んで冷静な判断ができなくなると、被害が深刻になることがあります。困っているときや迷っているときは、なるべく早く専門機関に相談しましょう。

○周囲の人へ

相談機関は、秘密厳守・安全第一で支援します。本人だけでは勇気が出ないこともあるので、専門機関への相談を勧めてあげましょう。

問 共生社会推進課　TEL0867-42-1017（FAX7455）
Email：kyoseisyakaisuishin@city.maniwa.lg.jp

真庭市ホームページ

必ず届け出を！ 第三者行為による傷病届

交通事故などの第三者行為によるけがや病気で医療機関を受診する場合でも、国民健康保険の資格を使用して医療を受けることができます。この場合は届け出が義務ですので、速やかに市民課に届け出てください。

■どんな場合に該当するのか

他人の行動が原因となるけがや病気です。お互いに過失がある場合や、加害者が親族や不明である場合も該当します。例えば、交通事故、スポーツ中の事故、飲食店での食中毒、他人のペットにかまれた、ケンカなどです。

■なぜ届け出が必要なのか

治療に要する医療費は、本来加害者が負担すべきものです。国民健康保険の資格を使って治療を受けた場合は、国民健康保険が医療費をいったん立て替えた後、加害者や保険会社に請求することになります。届け出をしないと、本来加害者が負担すべき医療費を国民健康保険が負担することになり、国保税の増加につながります。国民健康保険では、第三者行為の可能性のある治療をした時に、傷病原因などについて文書で尋ねる場合があるので、ご協力をお願いします。

■示談の際の留意点

加害者との話し合いにより示談が成立すると、国民健康保険が立て替えた医療費を加害者に請求できなくなる場合があります。その場合、医療費は被害者に請求することになるので、必ず示談の前に市民課にご連絡ください。また、示談の際は、内容に国民健康保険からの求償分を加害者が支払う旨を盛り込むようにしてください。

■問い合わせ先　市民課
TEL0867(42)1112
FAX0867(42)7455

■真庭市ホームページ▼

広報まにわ10月号 お詫びと訂正

広報まにわ10月号4ページに掲載した前原茂雄さんのインタビュー記事に誤りがありました。結びの文中「主催者」は、正しくは「主権者」です。お詫びして訂正します。

お知らせ INFORMATION

10月2日改訂 岡山県最低賃金

岡山県最低賃金が10月2日から、時間額1104円に改訂されました。最低賃金制度とは、最低賃金法に基づいて国が賃金の最低限度を定め、使用者は、その最低賃金額以上の賃金を労働者に支払わなければならないとする制度です。最低賃金には、岡山県内の全ての労働者とその使用者に適用される「岡山県最低賃金」のほかに、特定の産業の労働者に適用される「特定最低賃金」があります。詳しくは、岡山労働局ホームページをご確認ください。

■問い合わせ先
岡山労働局賃金室
TEL086(225)2014
■岡山労働局
ホームページ▼

事前に電話予約を 津山公証役場出張相談会

身近で安心して相談できる津山公証役場出張相談会を開催します。津山公証役場の公証人が、公正証書作成に関する相談に応じます。気軽にお申し込みください。

■日時　11月10日㈫
午後1時～
■場所　市役所本庁舎
■内容
・離婚協議での養育費や慰謝料などに関する相談
・自分の老後や親族の介護、認知症などにまつわる財産管理や遺言、成年後見制度、終活の相談
※当日は相談のみで、公正証書の作成はできません。
■定員　各4組（1組40分）
■相談員
公証人（必要に応じて真庭市女性家庭相談員、包括支援センター職員も同席します）
■相談料　無料
■申込方法　事前に電話予約。
■申込期限　11月6日㈮
■申し込み・問い合わせ先
共生社会推進課
TEL0867(42)1017
FAX0867(42)7455
■真庭市
ホームページ▼

蜜蜂を飼育している皆さんへ 蜜蜂飼育届の提出を

蜜蜂を飼育する人（趣味の範囲で飼育している人を含む）は、養蜂振興法に基づく「蜜蜂飼育届」の提出が必要です。

■届出対象者　原則、蜜蜂を飼育する全ての人
※詳しくは、県民局にお問い合わせください。
■届出期間
令和9年1月1日㈮～31日㈰
■届出事項　届出者の住所、氏名、電話番号、飼育場所、飼育予定蜂群数など
■届出方法　岡山県ホームページから「蜜蜂飼育届」の様式をダウンロードし提出。
■提出・問い合わせ先　岡山県美作県民局農林水産事業部農畜産物生産課畜産第二班
〒717－8501
真庭市勝山591
TEL0867(44)7564
FAX0867(44)4754
■岡山県
ホームページ▼

活用予定を調査します 集会所LED照明器具交換事業

令和9年度の集会所LED照明器具交換事業の活用予定を調査します。令和9年度に設置を予定している場合は、地域みらい創生課、または各振興局にご連絡ください。
※今回の調査は令和9年度の予算編成の参考とするものです。事業の実施や補助金交付を確約するものではありませんので、ご注意ください。

■対象事業
・真庭市集会所等施設整備補助金交付事業（LED照明器具交換事業）
■助成内容
上限10万円（補助率2分の1）
■連絡方法
来庁、電話、ファックス、またはメールで連絡。
■必要事項
①自治会名、②代表者名、③連絡先、④集会所名
■問い合わせ先
地域みらい創生課
TEL0867(42)1179
FAX0867(42)1353
Mail koryu@city.maniwa.lg.jp
■真庭市
ホームページ▼

真庭音楽祭
Let's Enjoy Music!
～みんなでつくる音楽祭～



「音楽で真庭をひとつに」という思いのもと、平成16年の発足以来親しまれてきた市民で作る市民参加型の音楽祭。今年も地元で活動する団体による吹奏楽、コーラス、弾き語り、和楽器演奏など多彩な音楽を披露します。

▶開催日時
11月22日㈰
正午～午後4時
▶場所
勝山文化センター
ポンテホール
▶参加費　無料
▶事前申込　不要
▶問い合わせ先
真庭音楽祭実行委員会
（真庭青年会議所内）
TEL0867-42-4453
※問い合わせ受付日時
月～金曜日
午前10時～午後4時

真庭市
ホームページ

ご相談ください
農地の相談は農業委員会へ

農地の売買、貸借、転用などを行う場合は、事前に農地法などに基づく農業委員会の許可が必要です。

■申請が必要な場合
・農地を売却・貸借する場合
・自分の農地を転用する場合
・他人の農地を譲り受けて転用する場合

■農業委員会とは
農業委員と農地利用最適化推進委員で組織する行政委員会です。住んでいる地域の委員は、市ホームページから確認できます。主に農地に関する次の仕事を行っています。
・農地の権利移動、転用などの許可
・農地の利用状況調査
・農地の貸借審査
・担い手への農地利用の集積、集約化
・遊休農地の発生防止、解消
・新規参入の促進

■問い合わせ先
農業委員会事務局
TEL 0867(42)1676
FAX 0867(42)3907

■真庭市ホームページ▼

カーボンニュートラル推進事業

2050年の真庭を守るのは君だ!
～未来ヒーロー育成プロジェクト～
体験型環境課題解決イベント

2050年の真庭市には、さまざまな環境危機が迫っています！参加者は「未来ヒーロー候補生」となり、環境問題から生まれたモンスターが待ち受ける見習い試験や、未来の真庭市を救う作戦会議に挑戦します。 人気お笑いコンビ「次長課長」の河本準一さんと、ハロー植田さんも未来ヒーロープロジェクトに参加！ 仲間と協力しながら未来の真庭市を救う、体験型の市民会議イベントです。

■**日　　時**　12月13日(日)　午後1時～5時30分
■**場　　所**　旧遷喬尋常小学校
■**定　　員**　小学生50名と保護者（先着順）
※保護者は見守り・サポートをお願いします。
■**参 加 費**　無料
■**申込方法**　申込フォームより必要事項を入力の上、申し込んでください。定員に達し次第、受付を終了します。

申込フォーム▶

■**申込期限**　12月11日(金)　正午まで
■**持 ち 物**　上履き、靴を入れる袋
※会場には暖房設備がなく、当日は冷え込む場合があります。暖かい服装でお越しください。

問 地域エネルギー政策課
TEL0867-42-5055（FAX3907）

真庭市ホームページ▶

冬も蒜山ミュージアム　会期は12月5日～令和9年4月11日

うちはそと！
蒜山ミュージアムの活動と隈研吾建築資料展

アートは自分の内面を表すだけでなく、外の世界や他者との関係を見つめるものでもあります。建築も外部から内部を守りながら、人々をどう迎え入れるかが重要です。今回の展覧会では、「うち」と「そと」の関係をテーマに、隈研吾の建築模型などの資料を紹介するとともに、今年の蒜山ミュージアムのワークショップなどの活動を写真や参加者の作品で振り返ります。

■**会期**
12月5日(土)～令和9年4月11日(日)
■**場所**　蒜山ミュージアム
■**開館時間**
午前9時～午後5時
（入館は午後4時45分まで）
■**休館日**
毎週水曜日、12月31日(木)、1月1日(金)
■**入館料**
・一般（高校生以上）　1人300円
・中学生以下無料
・20人以上の団体は1人240円
・真庭市蒜山郷土博物館の入館券の半券を提出いただいた人は100円引き
・障害者手帳を提示した人などは150円（介助者1人は無料）

＊詳しくは、ホームページをご確認ください。

蒜山ミュージアムホームページ

問 スポーツ・文化振興課　TEL0867-42-1178（FAX1416）
Email：sportsbunka@city.maniwa.lg.jp

利子補給率を引き上げます
マル経融資について

物価高騰の影響を受ける市内事業者の事業継続や経営改善を支援するため、小規模事業者経営改善資金融資制度（マル経融資）の利子補給率を、50㌽から80㌽に引き上げます。対象事業者など、詳しくは真庭商工会にお問い合わせください。

■問い合わせ先　真庭商工会
TEL 0867(42)4325
FAX 0867(42)4337
■真庭市
ホームページ▼

参加チーム募集中
第34回神庭の滝駅伝競走大会

チームのみんなで師走の勝山を駆け抜けましょう。

■日時　12月13日㈰
午前9時開会（予定）
■場所
勝山スポーツセンター
（受け付け、スタート、ゴール地点）
■参加費（1チームあたり）
・市内小学生、中学生、高校生編成チーム　千円
・市外小学生、中学生、高校生編成チーム　2千円
・一般社会人チーム　3千円
■申込方法
申込フォームから申し込み。
申込フォーム▼
■申込締切　11月10日㈫
■問い合わせ先
神庭の滝駅伝競走大会実行委員会事務局（勝山文化センター内）
TEL 0867(44)2011
FAX 0867(44)2399
■真庭市
ホームページ▼

事前申込が必要です
久世新春ロードレース大会

新春の久世のまちを走り抜けるロードレース大会を開催します。

■開催日
令和9年1月17日㈰
※悪天候の場合は中止（小雨・小雪は決行）
■場所（スタート・ゴール地点）
市役所本庁舎周辺
■種目
・小学生の部　2㌔㍍
・中学生、一般の部（高校生以上）2、4、6㌔㍍から選択
・ファミリーの部（家族2人以上で一緒に走り、一緒にゴール）2㌔㍍
■参加費　無料
■申込方法　真庭市ホームページから申し込み。
※当日の参加申し込みはできません。
■申込締切　12月18日㈮
■問い合わせ先
スポーツ・文化振興課
TEL 0867(42)1178
FAX 0867(42)1416
■真庭市
ホームページ▼

放送大学公開講座
のぞいてみよう漢方薬の世界

今回の放送大学公開講座は、漢方や漢方薬について学びます。西洋医学とは異なる視点での身体や病気の捉え方、漢方薬の組み合わせによる使い分けの方法などを紹介します。

■日時　11月28日㈯
午後1時30分～3時
■場所　中央図書館
■講師
谷口抄子さん（放送大学岡山学習センター客員准教授）
■定員　20人
■参加費　無料
■申込方法　中央図書館へ来館、電話、または申し込みフォームより申し込み。
申込フォーム▼
■申込締切
11月27日㈮
■問い合わせ先　中央図書館
TEL 0867(44)2012
FAX 0867(44)2020
■真庭市
ホームページ▼

ご参加ください
郷土史ラジオ収録

図書館の郷土資料室をめぐるラジオ「だいたい壁ぎわ」の収録を行います。郷土資料室の資料を深掘りし、専門的視点ではなく好奇心をもって、みんなでわいわい楽しく語り合う様子をラジオ番組として収録します。郷土資料室に入ったことがない人、郷土資料史初心者こそ大歓迎。気軽にご参加ください。

■日時　11月8日㈰
午前9時30分～正午
■場所　中央図書館
■対象者・定員
中央図書館の郷土資料室に興味のある人（10人程度）
■参加費　無料
■申込方法　中央図書館へ来館、または電話で申し込み。
■問い合わせ先　中央図書館
TEL 0867(44)2012
FAX 0867(44)2020
■真庭市
ホームページ▼

北房文化センターで開催
どんぐりクッキーを作ろう！

身近な植物であるどんぐりを使用してクッキーを作ってみませんか。

■日時　11月28日㈯
午後1時～
■場所　北房文化センター
■定員　6組（1組3人まで）
■持ち物　エプロン、飲み物
■参加費　無料
■申込方法
北房図書館へ来館、電話、またはメールで申し込み。
■申込期限　11月27日㈮
■問い合わせ先　北房図書館
TEL 0866(52)5220
FAX 0866(52)5221
Mail toshokan_hb@city.maniwa.lg.jp
■真庭市
ホームページ▼

令和8年度
全国学力・学習状況調査および春の岡山県学習状況調査 真庭市結果概要

この調査は、児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の改善や、子どもたちへの指導の充実に役立てるための１つの指標として活用しています。

【全国調査】
対象：小学校６年生および中学校３年生
内容：国語、算数／数学、英語、質問調査
※質問調査および中学校英語はCBTにて実施
【県調査】
対象：小学校５年生および中学校１、２年生
内容：質問調査

○自ら学び続ける力を育むために

教科の調査からは、特に算数・数学で基礎・基本の定着に課題が見られました。また、必要な情報を捉え、自分の考えをまとめたり、根拠をもとに説明したりする問題の正答率が低い結果となりました。質問調査の結果からは、家庭での学習時間の減少やスマートフォンなどの利用時間の増加といった課題も見られました。

学校での学びが家庭学習や次の学びにつながるよう、子どもたちが自分に合った学び方を選び、自ら調整していくことのできる授業づくりを進め、自ら学び続ける力を育んでいきます。

○ 真庭市の目指す「共育」の実現に向けて

「人が困っているときは、進んで助けている」、「地域や社会をよくするために何かしてみたい」と答えた児童生徒の割合は、今年度も全国を上回りました。人を思いやり、地域や社会に関わろうとする姿勢は、真庭市の子どもたちの良さの一つです。その背景には、地域の皆さんが日頃から教育活動に温かく関わり、子どもたちを見守り支えていることがあると考えています。今後もこの良さを大切に育んでいきます。

真庭市が目指す「協育　みんなで育て合う」、「郷育　ふるさとを知り、ふるさとへの思いを育てる」、「響育　互いのよいところを育て合う」という理念は、学校や家庭だけでは実現できません。学校・家庭・地域がそれぞれの良さを生かし、市全体で子どもたちを育てる「共育」を進めていきます。皆さんのご理解とご協力をお願いします。

▼児童生徒の平均正答率

学年	小学校6年生		中学校3年生		
項目	国語	算数	国語	数学	英語IRT
真庭市	**60**	**55**	**63**	**49**	**465～474**
全　国	60.9	56.4	63.9	57.0	499

IRT：問題の特性と生徒の能力を分けて推定する理論

▼豊かな心に関する質問項目【全国調査】

質問項目	学年	小6	中3
平日に1日当たりどれくらい勉強をしますか（1時間以上の割合）。	**真庭市**	**52.6**	**39.2**
	全　国	49.9	61.6
平日に1日当たりどれくらいスマートフォンなどを利用しますか（3時間以上の割合）。	**真庭市**	**45.4**	**57.4**
	全　国	37.6	49.6

▼豊かな心に関する質問項目【全国調査】

質問項目	学年	小6	中3
人が困っているときは、進んで助けていますか。	**真庭市**	**95.5**	**94.1**
	全　国	92.7	90.8

※「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と答えた児童生徒の割合（%）

▼地域や社会に関する質問項目【全国調査】

質問項目	学年	小6	中3
地域や社会を良くするために何かしてみたいと思いますか。	**真庭市**	**84.5**	**76.8**
	全　国	80.1	72.3

※「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と答えた児童生徒の割合（%）

調査の詳しい結果や今後の取り組みは、市ホームページをご覧ください。▶

問 学校教育課　TEL0867-42-1087（FAX1416）
Email：gakkohkyohiku@city.maniwa.lg.jp

真庭市ホームページ

中央図書館で開催
中南米映画祭2026

今年のテーマは「中南米」。ブラジル、メキシコ、ペルーなど30以上の国々からなり、それぞれ多様な文化・歴史・社会背景を持っています。中南米の魅力を知ることができる３日間です。

■開催日
11月13日(金)～15日(日)
■場所　中央図書館
■内容および参加費
①映画上映（1作品千円、高校生以下は無料）
②ゲストトークや音楽ライブ（無料）
③フードやドリンクの出店
④中南米の写真や民族衣装の展示
※詳しいプログラムは、チラシや市ホームページをご覧ください。託児（15日のみ）や手話通訳、要約筆記を希望する人は11月5日までにご連絡ください。
■問い合わせ先　中央図書館
TEL 0867(44)2012
FAX 0867(44)2020
■真庭市ホームページ▼

まにわが好きっ 読者の広場



ほんだ あくあ
本多 海久葵ちゃん
R7.11.1生まれ（木山）
㊍雄嗣さん（祖父）



とみなが りのん
富永 梨暖ちゃん
R7.11.1生まれ（久世）
㊍はのんさん（姉）

今月のテーマ「手紙」

「教え子へ」

徳岡貴美枝さん（落合垂水）

昭和32年4月から40年間小学校に勤務した。新任は美甘村立美甘小学校だった。書棚を整理中、富原小学校の教え子からの手紙が見つかった。私が転勤した後、郵送された手紙だった。15円切手が貼られた封書。昭和45年4月20日の消印があった。今から50年前の手紙、読みながら胸が熱くなった。真庭郡と現住所に書かれていた。一通一通食い入るように読ませていただいた。60年近い年数を一気に飛び越え懐かしい富原小学校が浮かんだ。走馬灯のように当時の事がかけめぐり、こんなにも私を信じ、信頼してくれていたのかと改めて胸に込み上げてくるものを感じた。教え子の皆さん、これからもお互いに心のつながりを深めつつ今後の人生を夢多きものにしましょう。改めてお手紙ありがとう。90才を迎えた元教師より。

「私の先生」

室川典子さん（目木）

私は約60年、4年生の時の担任だった先生と文通しています。私が近況報告を便りすれば、必ずハガキびっしりに返事を書いて送ってくださいます。文通だけでしたが60年たった頃、思わぬ出会いをする事ができ感激で、涙があふれました。今は郵便料金の値上げ、高齢になられているので年賀と家で取れた野菜を送っています。スマホにメッセージを入れておけば必ず電話がかかってきて話がはずみます。先生は私の心の支えです。いつまでもお元気で私を見守っていてほしいです。

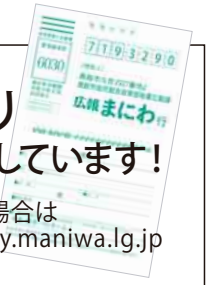


なんでやねん！「わたしの意見もきいてえやあ。」

子どもたちから出てきた「なんでやねん！」です。この「なんでやねん！」には、子どもたちのどんな思いが込められているのでしょうか。自分の思いや考えを大切にしてほしい。一緒に考えてほしい。そんな思いを伝えているのかもしれません。意見を言うことも、子どもの権利です。子どもの権利条約第12条で子どもは、自分に関係のあることについて、自由に自分の意見を表す権利を持っています。そして、その意見は年齢や成長に応じて大切にされます。子どもの意見を聴くことは、子どもの言う通りにすることではありません。大切なのは、一人の人として子どもの思いを受け止め、一緒に考えることです。子どもが「言ってもいい」と思えること。そして、大人が「きこう」と耳を傾けること。その積み重ねが、誰もが自分の思いを伝え、互いの声を聴き、尊重しあえる地域をつくります。

今月のことば「はなしてもいい」、「そして、きこう」

詳しく知りたい場合は、総合政策課にお問い合わせください。
TEL：0867-42-1169（FAX1353）　Email：sogoseisaku@city.maniwa.lg.jp



お便り お待ちしています！

メールの場合は
koho@city.maniwa.lg.jp

《1月号読者の広場》

◎テーマは
「羊」です。
穏やかさや春など抽象的なもの、ジンギスカンやウールなど羊から連想するものについて、200字程度でお寄せください。

◎川柳の兼題は
「平和」です。

お便り・川柳は、同封のはがきをご利用ください。締め切りは11月25日㈬です。



★対象★
発行月に1歳の誕生日を迎えられる市内在住のお子さん。

★応募期限★
誕生月の前の月の10日まで

★掲載内容★
❶お子さんの写真❷氏名(ふりがな)❸生年月日❹住所❺応募者のお名前と続柄

★応募および問い合わせ先★
総合政策部秘書広報課
〒719-3292 真庭市久世2927-2
TEL0867-42-1163（FAX1353）
E-mail:koho@city.maniwa.lg.jp

二次元コードから入力フォームを開くことができます。



若狭 柚杏（わかさ ゆあ）ちゃん
R7.11.10生まれ（三田）
㊊柚咲さん（姉）



笠井 渚（かさい なぎさ）くん
R7.11.5生まれ（中島）
㊊頌也さん・唯帆さん（両親）



大江 望碧（おおえ のあ）ちゃん
R7.11.29生まれ（久世）
㊊魁利さん・加奈さん（両親）



佐藤 絵茉（さとう えま）ちゃん
R7.11.21生まれ（栗原）
㊊眞二さん・沙也香さん（両親）

「心を結ぶ手紙」

菊楽正子さん（物）

昨年12月のこと、ある病院の待合室で女性に「広報まにわは読まれてますか。広報紙に目を向けると心が温まりますね。私も時々その仲間に加えてもらっているんですが、もし良かったらご覧ください」と言ってお見せしました。時は過ぎ、その女性から今年の3月頃、お手紙を頂きました。少し抜粋しますね。「素晴らしいです。あなたが投稿なさった文章は私にとって何てすてきな人だろうと嬉しくなりました。何度も何度も読みました。そしてこの手紙が菊楽正子様のお手元に届くかどうか、私には分かりません。電話帳の惣の住所に出してみることにしました。『どうぞ正子様のお手元に届きますように』との願いを込めて…」とありました。それ以来、母と子のような関係で私たち夫婦とお付き合いをさせていただいています。広報紙を通じて女性が手紙を書いてくださったことで、すてきな出会いができました。

みとすけTIME

MIT 真庭いきいきテレビ

真庭いきいきテレビで放送している制作番組を紹介するコーナー「みとすけTIME」です

◆みまさか自慢

美作地域のケーブルテレビ局5局による共同制作番組です。今回のテーマは「あったかい○○」です。真庭いきいきテレビがゲストで出演し、鏡野町からお届けします。この番組をご覧になって、行楽の秋に出かけてみてはいかがでしょうか。





◆ダイブ・トゥ・マニワ

MITの今石アナウンサーは今年3月から、この番組でダイエット企画を始めています。今回は、真庭警察署で柔道を体験。町の平和を守るお巡りさんの強さの秘密をのぞいてみましょう！そして今石アナウンサーの体重の変化はいかに!?

その他にもこの広報に挟まれている「番組表」に詳しくご紹介しています。
今月も真庭いきいきテレビをどうぞご覧ください。

MITホームページ
二次元コード▶



▲PN かほさん



▲PN ぶろっさむさん

図書館へ行こう！ 本の紹介

真庭市立久世図書館

〒719-3214 真庭市鍋屋17-1
TEL0867-42-7203 FAX0867-42-7204
開館時間 9:00~18:00
休館日 毎週水曜日、年末年始

今月のおすすめの本

『容赦のない猫たちに今日も絡まれています』
やーこ／著　KADOKAWA



愛猫たちからの「ねこハラ」だらけの暮らしをユーモアに富んだ文章と、なんとも緩い写真でつづる。著者の猫愛に満ちたフォトエッセイ。声を出して笑ってしまうリスクがあるため、周囲をよく確認の上、お読みください。

『調理師ゆめ子の ほぼ1食材 からだ想いの4コマレシピ』
ゆめ子／著　KADOKAWA



小松菜のごちそう煮、ピーマン味噌、大葉ささみだんご。すべてのレシピが4コマで解説されていて、パッと全体を見ることができるので料理のハードルもグッと低くなっています。さらにおいしく作るためのポイントも紹介されています。

『こんなにかわった！ やさいくだもの むかし・いま』
ほりかわあきな／著　講談社



野菜と果物の昔と今の姿を比べてみると…。栽培のしやすさやおいしさ、収穫量などを求め人間が品種改良を重ねた結果、自然環境のなかで生き抜くための有利な姿が大変身。リンゴにメロン、サツマイモ…昔はどんな姿だったのかな？

『神の蝶、舞う果て』
上橋菜穂子／著　白浜 鴎／装画　講談社



神と魔物、光と闇が共に宿るとされている聖域「闇の大井戸」で、魔物から神の蝶を守る役目を負って暮らす少年・ジェード。ある日、相棒の少女・ルクランが、神の蝶が舞いあがってくる予兆の鬼火に触れる事件が起きて…。

取材先で、こんにちは。真庭人（まにわびと）

国際交流をしてみて

三村莉音さん（平松）



外国の人と触れ合うのは初めてだったので、どういう感じか分からなかったけど、実際に触れ合ってみたら、とても楽しかったです。漢字を書いたり、折り紙を折っている時にとても楽しんでもらえて、こっちまでうれしい気持ちになりました。言語が違うのもあって、書き方や折り方を教えるのが難しかったです。これからも外国の人などともっと触れ合っていき、いろいろな言語や文化について学んでいきたいです。

地域を盛り上げていきたい

焼芝（やこうげ）一座座長　西 晴光こと　酒井晴弘さん（栗原）



自分が生まれる前から始まった焼芝一座公演に小学生時代から関わってきました。芝居でも舞踊でも舞台に立つのは緊張よりもうきうきして楽しく、声援が気持ちいいです。焼芝一座は年齢に関係なく仲良く力を合わせて舞台をつくり上げています。先代たちから受け継いで50周年の節目に感謝の気持ちを込めて演じました。これからも60年、70年と愛され続ける一座を目指していきます。

商工会女性部も頑張りました

山本愛子さん（上水田）



北房エリアの女性部は会員が35人いて、真庭では一番多い会員です。今年のコスモス祭りは会場がコスモスドームに変わりました。商工会館から近いので、準備がとてもスムーズにできました。天候に恵まれて本当に良かったです。350食用意した焼きそばは予約もあり、売り切れるよう頑張りました！実はイベント後の打ち上げが楽しみで、毎回頑張れます。

かんたん手話講座

みんなでやろう!

問 福祉課 TEL0867-42-1581（FAX1369）

今月の手話
『文化祭・劇』

手話：真庭聴覚障害者コミュニケーションの会やまなみ　太才力子さん





①文化
両手の親指の付け根で組み合わせたら、左右の手の前後を変えて組み替えます。

②祭り
肩でおみこしを担いで上下に揺らす仕草をします。①と②を合わせて「文化祭」です。



③劇
片手の甲側を手前にして、もう片方の手の甲を相手側に互い違いに向けたら、握った手を同時にひねってそれぞれをクルンと裏返します。

今回の手話を動画で見てみよう
真庭市公式YouTube▶



もっと手話のことを知りたい時は

真庭いきいきテレビを見よう

真庭いきいきテレビのコーナー「手話でしゅわわせ」では、日常で使える手話などを紹介しています。

●毎月第3火曜日
ほっとまにわいどチャンネルで放送中
MITホームページ▶

まにわが好きっ 読者の広場



▲PN 柚奈さん





ぶつかり合うだんじり

10月19日、20日に開催された「勝山喧嘩（けんか）だんじり」を撮影しました。正面同士でぶつかるたびに地響きのような音が鳴り、かねや太鼓と相まって観客を沸かせていました。

川柳「たまご」

選：真庭川柳協会　佐藤彰さん

夢を追いきらきら光るたまご達　樫東
まだ玉子ひよこになれず五七五　杉山
あの子まだ半熟たまご世に転ぶ　組
五十年金の卵も色褪せて　月田
ゴールまでまだまだたまご歩こうよ　下方
期待するたまご大事にあたためる　ふみこ
卵からヒヨコが出るかと孫二人　横山とも子
生たまご茹でられ焼かれ七変化　楢本公枝
夫が逝く心に残るゆでたまご　徳岡貴美枝
弁当の最後に食べる卵焼き　中山春子
親鳥は雨風に耐えたまご抱く　こすもす
「たまごっち」三日で飽きて部屋の隅　せい子
主役にも脇役にも成るたまご　酔翁
たまごっち育てた頃は若かった　有若日出子
たまごやき減らす訳にもいかぬ日々　茅乃
母偲びチョッピリ塩味玉子焼　永田行雄
赤ちゃんの肌はむきたてゆで卵　黒田典男
〈軸吟〉キャビアよりごはんの友はめんたいこ　佐藤彰　竹井雪江



真庭人

MANIWABITO

長恒 泰裕
Nagatune Yasuhiro

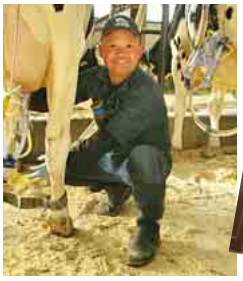
酪農経営する中での変化

7月9日、10日に沖縄県那覇市内で開催された第53回全国酪農青年女性酪農発表大会の酪農経営の部で長恒泰裕さんが農林水産大臣賞を受賞しました。飼養管理のDXなどによる経営改善の取り組みや循環型モデルによる品質と収益性向上に向けた発表を行い、高い評価を受けました。小さい頃から牧場の手伝いをしていたこともあり、中学生の時には将来は酪農家になりたいと思うようになっていた長恒さん。酪農の魅力について、「牛を管理する人たちの努力次第で良くもなれば悪くもなるので、そこにやりがいや面白さを感じています」と語ってくれました。今回発表した取り組みを通じて、牛を安定して健康に飼えるようになったことや機械化したことによって、昔より飼養頭数が倍以上になっても、少人数のまま管理ができていることを大きな変化として実感しているそうです。

自分たちができることを徹底する

経営する中での苦労として、酪農は海外に依存している部分がかなりあるため、円安やウクライナ・イラン情勢の影響で生産コストに打撃を受けていること、夏場の気候の変化で、牛の健康管理や牧草の管理が年々難しくなってきていることがあるそうです。こういった事情は、自分たちではどうにもならないこともあり、普段の管理を徹底していくことが一番大切だと話します。ほかにも、学生時代にさまざまな牧場で学ばせてもらった感謝の気持ちから、毎年行われるヘルパー研修や全国酪農業協同組合連合会の新人研修を通じて、人材育成にも力を入れている長恒さん。自分たちの酪農だけでなく、次世代に向けた投資も行いながら、酪農の持続可能性を追い求める日々はこれからも続きます。

搾乳する長恒さん



授賞式の様子



長恒 泰裕さん（蒜山下徳山）

長恒牧場の長男として生まれる。酪農経営をする傍ら、公益財団法人中国四国酪農大学校で講師も務め、消防団や祭りの役員、スポーツ少年団の監督など、活動は多岐にわたる。野球観戦やゴルフが趣味。

まにわびと 78 2026



健康のススメ

筋トレをしよう！

お話：clinic SHIRO 院長 **久野 裕輝**さん
問 TEL 0867-55-2121（FAX2124）

筋トレで生活習慣改善へ

私自身の筋トレ体験

筋トレと聞くと、どのようなイメージを持ちますか。「きつくてしんどそう」、「ジムに通ってマッチョたちが重たいものを持ち上げてそう」と思う人も多いかもしれません。実は、私自身も日頃から筋トレを習慣にしています。胸・背中・肩・腕・脚と日ごとに鍛える場所を変え、ジムに通って本格的に体を鍛えています。最初は運動不足やストレスの解消のために始めた筋トレですが、体が変わるにつれて楽しくなり、動画などで理想の体の人を見つけてはトレーニングのまねをしていました。ボディメイクの大会にも興味を持つようになり、何度か出場した経験もあります。仕事で疲れて乗り気でない日もありますが、そういう時こそ筋トレをすると不思議と体が楽になり、気分がリフレッシュしていることに気づきます。筋トレを続けることで、体が疲れにくくなり、毎日元気に過ごせることを身をもって感じています。筋トレは特定の人だけのものではありません。子どもから高齢者まで、すべての人にとって健康で元気に過ごすための人生の強い味方です。

筋トレがもたらす素晴らしいメリット

●体力の維持と病気の予防

私たちの体の筋肉は、何もしないと年齢とともに少しずつ減っていきます。筋肉が減ると、疲れやすくなったり、転びやすくなったり、膝や腰に負担がかかります。筋トレで筋肉を維持・向上させることは、一生自分の足で元気に歩き続けるための準備になります。また、筋肉が増えることで基礎代謝が上がり、太りにくい体になります。糖尿病、高血圧症、脂質異常症などの生活習慣病の予防にも大きな効果があります。

●姿勢の改善とケガの予防、アンチエイジング

体幹や筋肉をしっかり使うことで、正しい姿勢を保ちやすくなり、日常でのケガを防ぐ強い体をつくれます。姿勢が良くなることで立ち振る舞いもきれいに見え、若々しくなります。実際にボディメイクの大会に出場してみると、参加者の皆さんは実年齢よりもはるかに若く見えます。

●気分のリフレッシュと心の安定

筋トレの効果は体だけではありません。体を動かすことで頭がスッキリし、ストレス解消や睡眠の質の向上につながります。運動後に分泌されるホルモンの働きによって気持ちが前向きになり、自信が湧いてくるといったメンタル面の良い変化も期待できます。

完璧を目指さず、自分のペースで始めよう

そうはいっても、最初から私のようにジムに通う必要はありません。大切なのは、自分の生活に合わせて継続することです。体の変化を実感するまでに最低3カ月程かかりますが、一度体が変わってくると食事や睡眠の大切さにも気づき、生活習慣全体が良い方向へ変わっていきます。最初は自宅で腕立て10回、スクワット10回など、継続できる程度で十分です。とにかく始めてみることが大事です。「前回10回できたから今日は11回にしてみよう」、「1セットを2セットにしてみよう」と、少しずつ負荷を増やしていきましょう。自宅でのトレーニングで物足りなくなったら、ジムに通うのもおすすめです。マシンや器具の使い方が分からなくても、マッチョは基本優しいので、休憩中に声をかければ親切に教えてくれると思います。筋トレを成功させる最大のこつは、「完璧を目指さず、自分のペースで楽しみながら長く続けること」です。筋肉は何歳からでも、鍛えれば必ず応えてくれます。今日からできる小さな一歩をコツコツ続けて、いつまでも笑顔で元気な毎日を過ごしましょう。



ぐるっと まにわ 真庭

まちの話題

花笑むコスモスと人々

北房コスモスまつり

10月11日、北房の秋を彩るイベント「北房コスモスまつり」が開かれました。例年はコスモス広場で行われていましたが、21回目の今年は北房振興局側の北房コスモスドームに会場を移して開催。ステージでは北房ほたるっ子ミュージカルによるダンスの披露などが行われたほか、会場では北房地域を中心に19団体が焼きそば、おこわなどを販売しました。またドーム周辺やコスモス広場にはイベントに合わせるようにコスモスが咲きそろい、訪れた人の目を楽しませていました。



子どもたちのステージににぎわう会場



笑顔あふれる接客風景



会場がコスモスドームに



コスモスを背景に撮影

「注文の多い料理店」を踊る

平井優子&真庭の人たちによるダンスパフォーマンス

宮沢賢治の童話「注文の多い料理店」を題材にしたダンスパフォーマンスが10月4日、旧遷喬尋常小学校で開かれました。倉敷市のダンサー・振付・演出家の平井優子さんと一緒に9月からワークショップで学んだ表現を11人の子どもたちが披露。物語の注文を学びや規則になぞらえ、ダンスや影絵などで表現しました。訪れた約80人の観客は校内を巡り、物語の登場人物になったような演出を楽しみました。



平井さんと子どもたちによるダンスのワンシーン

勝山高校が大学と連携

勝山高校と美作大学 協定締結式

10月6日、勝山高校と美作大学が教育活動で連携を図るため、協定を締結しました。勝山高校が大学と協定を結ぶのは今回が初めてで、大学生と高校生がそれぞれの知見を広めることや地域に貢献する人材の育成、地域のにぎわい創出につなげることが狙いです。高校生が大学の授業を受ける、大学生が真庭市内でフィールドワークを行うなど、双方の強みを生かして連携を図ることとしています。



美作大学桐生学長(左)と勝山高校瀬島校長が協定書を掲げる

9/18 元気の秘けつは食と運動



清友榮さん（別所）が９月18日に百歳を迎えられました。ゲートボールやグランドゴルフをしていて、ゲートボールではメダルをもらったことがあるそう。何でもよく食べることが長寿の秘けつとのことです。

9/20 はんざき博士の勉強会



はんざきと呼ばれているオオサンショウウオについて学ぶ勉強会が湯原ふれあいセンターで開かれました。参加者は、調査や保護活動についての講演、えさやり体験などを通してはんざきに親しんでいました。

9/23 中学生バレー真庭で熱戦



真庭支部中学校秋季総合体育大会に代わり今年は各競技で交流大会などが開かれていて、バレーボール大会には県内外から６チームが参加。選手たちは声を掛け合いながら日頃の練習の成果を発揮していました。

10/1 体力には自信あり



石原伯さん（社）が10月１日に百歳を迎えられました。テレビや新聞を読んだり、畑作業も時々したりしているそうです。最近までスポーツをしていたことや何でもよく食べることが長寿の秘けつとのことです。

10/10 生け花やテレビを見ることが趣味



片山恒美さん（三田）が10月10日に百歳を迎えられました。生け花やテレビを見ることが趣味で、ケアハウスで楽しく過ごしているそうです。頭や体を使うこと、食べることが長寿の秘けつとのことです。



色鮮やかな衣装で舞う演者に目が離せない観客

受け継がれる地域の舞台
焼芝（やこうげ）一座 50周年記念公演

10月11日、栗原の焼芝コミュニティハウスで、焼芝一座の公演が開かれました。今年で50周年となる焼芝一座は、役者から運営、音響、照明まですべて地域の人たちが担っています。公演では、舞踊や芝居のほか、これまでの歩みを写真や動画で振り返る記念上映が行われました。役者の中には、今回初出演のメンバーや、数年ぶりに舞台に立つメンバーもいて、さまざまな人たちによる華やかな舞台が繰り広げられました。



ススキが揺れる秋の蒜山を走り抜ける参加者

マラソン通じ蒜山を満喫
蒜山高原マラソン大会

10月18日に開かれた蒜山高原マラソン大会には、秋の蒜山を走りたいという人や、おかやまマラソンに向け力試しをしたいという人など県内外から約７００人が集まりました。参加者はさわやかな空気の中、蒜山高原スポーツ公園をスタートし、10キロと３キロのコースに分かれ、晩秋の蒜山を満喫。よく晴れたランニング日和で、選手らは家族や仲間の声援を受けながら最後まで全力で走っていました。

おかやま縁むすびネット

真庭市特設会場のお知らせ

特設会場では、常設の3センター（岡山・倉敷・津山）のように登録や閲覧をして、相手探しをすることが可能です。
身近な場所で気軽に利用したい人や、センターに出向くのは困難と感じられる人は、この機会にぜひご活用ください。

日時 12月6日（日）
場所 真庭市交流定住センター（久世2374-3）
時間 午前11時30分～午後5時15分 ※完全事前予約制
予約枠 5名 ※おかやま縁むすびネットのマッチングページからご予約ください

お問い合わせ
おかやま出会い・結婚サポートセンター
TEL：086-236-0802

第18回 全国水源の里シンポジウム in 岡山県真庭市

上流は下流を思い、下流は上流に感謝する

森と水が育む循環型の未来
―上流と下流の協働による新しい地方創生―

11/9（月） 久世エスパスセンター 午後1時開始
誰でも参加可能です。気軽にご来場ください。（入場無料）

情報提供

【講師】
総務省 自治行政局
地域力創造グループ
ふるさと住民登録制度推進室

「ふるさと住民登録制度について」

基調講演



【講師】
島根県立大学准教授
田中輝美氏

「関係人口という新しい仲間」
～観光でも定住でもない関係づくりとは？

パネルディスカッション



「森と水の恵みと人のつながり」
【コーディネーター】
真庭市政策アドバイザー
中川正樹氏

【パネリスト】



北房みらいづくりネットワーク
空き家活用チーム
平泉 繁氏



（株）KANAMS
執行役員営業部長
織田紘子氏



真庭市地域おこし協力隊
小林建太氏



中和地域づくり委員会
前委員長
大美康雄氏

主催／全国水源の里シンポジウム真庭実行委員会、一般財団法人自治総合センター
お問合せ・事務局 ／ 真庭市 総合政策部 地域みらい創生課
TEL. 0867-42-1179
Mail.koryu@city.maniwa.lg.jp
HP

まにわがスキッ!! 編集後記

10月中旬に鬼女台展望休憩所付近のススキの群生を見てきました。秋の自然や花は見ていて落ち着くので、とても好きです。11月には紅葉やイチョウ並木も見頃を迎えるので、楽しみにしています。写真も撮るのが好きなので、見に行くとかなりの枚数を撮るのですが、技術まで意識したことはあまりなかったので、今後は少し意識してみようと思います。　今石

日が短くなり、太陽のありがたみを感じる季節になりましたね。何かと意欲が湧く秋ですが、わが家では大掃除の季節です。以前、年末に張り切って掃除や洗車をして風邪をひいて以来、12月の大掃除は諦めました。日頃から掃除や片付けをしていれば年末の大掃除は不要、という本を読んだこともあり、今年は11月中に家をすっきりさせるのが目標です。　柿本



▲PNりんねさん

■発行 真庭市役所 ■編集 総合政策部秘書広報課
■秘書広報課 Eメール hisho@city.maniwa.lg.jp
〒719-3292 岡山県真庭市久世2927-2 TEL0867-42-1163（内1353）
ホームページ https://www.city.maniwa.lg.jp

VEGETABLE OIL INK この広報紙は、環境にやさしい植物油インキを使用しています。
この印刷の一部には、水質保全に有効な水なし印刷方式を採用しています。
この広報紙は、再生紙を使用しています。